

沈黙との対話

Impro.X 27min	Take1	3min	※Take5 途中で「Walking」を入れる ※Break の感じが、場に見えるようにする ※take 毎に新しい始まり方(起点、時間の経過を創りだしていく)
	Take2	1.5min	
	Take3	45sec	
	Take4	45sec	
	Take5	9min	
		Walking	
	Take6	3min	
	Take7	6min	
SceneA		6min	八重樫「幻聴」
			※少し、長めの Interval
Text		15min	女 4 人: 存在の不確かさ、不安。恐れ 言葉のざわめき「沈黙のために」 (『最後の人』モーリス・ブランショより) 男 1 人: 女を見ている
SceneB		15min	サキ「フランスパンと煙草」 ~女が一人でいる、夜の時間 日常(退屈)、記憶、空想の交錯
Impro.Y 21min	-take1	3min	中島 Bridge Walking 両手を挙げ、そりかえりながらゆっくり舞台を斜めに過ぎる
	-take2	12min	一人ずつ入ってくる
	-take3	6min	列→「Self Portrait:生のこだわり」

Impro.X 自らの動き、相互に反応する動きを、意味を形成する前に中断していく。繰り返される中断による何も生み出さない時間。「虚構」の排除による、限りなく零に近似していく空間。

Impro.Y Take2 「Ground O」をモチーフに、個々の時間を創り出し、交錯させていく。
(ソロ=多様な意味の重なり合い)

Take3 列: 静かに並ぶ
「Self Portrait:生のこだわり」をモチーフに、個々の時間を創り出していく。